

令和3年9月9日

お客様各位

日本化薬株式会社  
アグロ事業部

## 「フーモン®」登録内容変更のお知らせ

拝啓

時下ますます御清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび、ご愛顧いただいております、気門封鎖剤・殺菌剤・展着剤「フーモン®」（登録番号第23741号）が令和3年9月8日付で登録内容変更（適用作物の追加）となりましたので、お知らせいたします。

変更後も引き続き、「フーモン®」をご愛顧いただけますよう、よろしく願い申し上げます。

敬具

## 記

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名
第23741号	フーモン	ポリグリセリン脂肪酸エステル乳剤 フーモンは日本化薬(株)の登録商標

## ■変更内容

以下のとおり「適用作物」が追加になり、「病害虫の範囲及び使用方法」の登録内容、注意事項が変更になりました。

- (1) 作物名「おうとう（ハダニ類）」を追加する。
- (2) 適用農薬名「殺虫剤」の作物名を「りんご」「かんきつ」を「果樹類」に変更する。
- (3) 適用農薬名「殺菌剤」に作物名「りんご」を追加する。
- (4) 当該変更に伴い、使用上の注意事項に「おうとうの果実に薬害を生じるおそれがあるので、果実のある時期は使用をさけること。」「展着剤としての使用に当たっては、果実が果粉を形成する果樹類に使用する場合、果粉の溶脱を生じるおそれがあるので無袋栽培の果実や有袋栽培の袋かけ前の果実のある時期は使用をさけること。」を追加する。

変更後の内容につきましては、別紙をご参照ください。

## ■本剤に関するお問い合わせ先

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1

日本化薬(株) アグロ事業部 営業部マーケティング担当

電話：03-6731-5321 FAX：050-3730-7867

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1

日本化薬株式会社

## 別紙

## 適用拡大後の適用害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ポリグリセリン脂肪酸エステルを含む農薬の総使用回数
りんご	うどんこ病	1000 倍	200～700 ℓ/10a	収穫前日 まで	—	散布	—
かんきつ	ハダニ類						
おうとう							
野菜類	うどんこ病 ハダニ類 アブラムシ類 コナジラミ類		150～500 ℓ/10a				

適用農薬名	作物名	使用量 (希釈倍数)	使用方法
殺虫剤	果樹類	10mℓ散布液 10ℓ (1000 倍)	添加
	野菜類		
殺菌剤	りんご		

## 使用上の注意事項

- (1) 使用量に合わせ薬液を調製し、使い切ること。
- (2) 散布液調製の際はよくかき混ぜ、調製後はなるべく早く使用すること。
- (3) 本剤薬液が害虫にむらなくかかるよう葉の表裏に丁寧に散布すること。 散布液が直接害虫にかからないと効果が期待できない場合がある。
- (4) 本剤は残効が短く、害虫の卵に対して効果が劣るため、害虫の増殖期や圃場外からの飛び込み盛期には、5～7日間隔の連続散布で使用するか、他剤とのローテーション散布で使用すること。
- (5) 散布水量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調節すること。
- (6) 散布直後の降雨は効果を減ずるので、天候を見極めてから散布すること。
- (7) 作物の幼苗期や軟弱徒長苗、高温時など一般に薬害が生じやすい条件では、本剤の使用をさけること。
- (8) おうとうの果実に薬害を生じるおそれがあるので、果実のある時期は使用をさけること。
- (9) ストロビルリン系薬剤との同時施用及び近接散布は、薬害を生じるおそれがあるのでさけること。
- (10) 防除効果が低下するおそれがあるため展着剤は加用しないこと。
- (11) 展着剤としての使用に当たっては、使用農薬の使用条件や使用上の注意事項を厳守すること。
- (12) 展着剤としての使用に当たっては、使用農薬の使用上の注意事項に薬害の生じやすい作物、気象

条件などが記載されている場合には、本剤の使用をさけること。

- (13) 展着剤としての使用に当たっては、果実が果粉を形成する果樹類に使用する場合、果粉の溶脱を生じるおそれがあるので無袋栽培の果実や有袋栽培の袋かけ前の果実のある時期は使用をさけること。
- (14) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

以上